

# TELFORGOOD™

## TEL FOR GOOD の展開

TEL FOR GOOD (テル・フォー・グッド) は、東京エレクトロンの社会貢献活動を表すブランドネームです。世界各地で当社グループの主催する社会貢献イベントや各種プログラム、寄附やボランティア活動などの総称として運用しています。

2021年度は、社会における重要性や当社の事業との関連性を考慮し、重点分野を「テクノロジーとイノベーション」、「地球環境の保全」、「地域社会との共創」と再定義しました。

当社はTEL FOR GOODを世界各地で展開することにより、産業や社会の課題解決と発展およびSDGsの達成への貢献を目指します。

ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を深め、夢と活力に満ちたサステナブルな社会の構築に貢献し、当社の基本理念を実践します。



### テクノロジーとイノベーション

半導体やディスプレイの進化において、革新的なテクノロジーによるイノベーションの創出は不可欠です。TEL FOR GOODを通じて創造性を育む学びの機会の創出や、独創性に富んだ研究開発の支援をグローバルに展開します。



### 地球環境の保全

気候変動が深刻化する中、事業を通じた活動に加え、TEL FOR GOODにより、脱炭素社会の構築に取り組みます。また、水資源の保全や生物多様性の維持などに努めるとともに、サーキュラーエコノミーを推進し、地球環境の保全に貢献します。



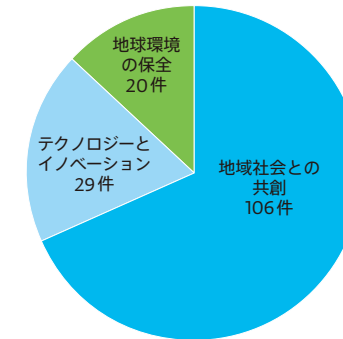
### 地域社会との共創

雇用機会の創出や地場産業の育成などにより、事業活動を展開する地域の発展と活性化に貢献するとともに、地域に根差したTEL FOR GOODを展開することで地域社会との共創に努めます。また、国際的な人道支援や災害復興などに取り組み、企業市民としての役割を果たします。

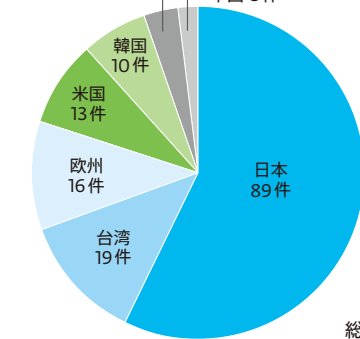


## TEL FOR GOOD 活動件数 (2021年度)

### 重点分野別



### 地域別



総計 155件

## TEL FOR GOOD グローバルプログラムについて

当社はTEL FOR GOODの個別プログラムに加え、グループ全体で共通のテーマに基づくTEL FOR GOOD グローバルプログラムを展開しています。2020年度に「環境」と「人権」をこのグローバルプログラムとして定め、取り組みを進めています。従業員からアイデアや意見を募集し、全員参加型のプログラムを推進することにより、社会課題の解決に貢献するとともに、従業員の一体感の醸成と社会貢献活動に対する意識向上に努めています。



## 世界各地での活動の様子



## 世界各国の取り組み事例 [詳しくはこちら](#)

### テクノロジーとイノベーション

#### TEL Robot Combat 科学技術を専攻する学生のためのロボットコンテスト 台湾

Tokyo Electron Taiwan は、2016 年度から科学技術を専攻する大学生および大学院生を対象に、ロボットのコンテストを主催し、企画から審査、運営までおこなっています。産学連携で実施されるこのイベントは、スキル向上の機会や、企業や団体とのアイデア交換の場を学生に提供しています。2021 年度は、22 大学から約 180 名の学生が出場し、また 20 名の社員がスタッフとして参加しました。



#### 知のフォーラム 社会課題の解決に向けた産学連携プログラム 日本

東京エレクトロンは、「知のフォーラム」を 2013 年度の発足時から支援しています。2021 年度には、当社と東北大学が連携して取り組む 3 年間のテーマプログラムが終了しました。このテーマプログラムのワークショップには、東北大学の学生 18 名と社員 8 名が参加し、「『私らしく生きる』を実現する IoT 技術と社会のデザイン」をテーマに、情報技術が人間の Well-being にどのように貢献できるか、また想定される社会課題などについて議論を繰り広げました。



### 地球環境の保全

#### 「東京エレクトロンの森」 森林の育成と環境保全のための植樹活動 日本

東京エレクトロン宮城は、森林の育成と環境保全への取り組みの一環として、大和町内の県有林約 4.2ha を「東京エレクトロンの森」と命名し、2017 年から植樹活動を実施しています。これまでの 5 年間で累計 239 名の社員とその家族がこの活動に参加し、遊歩道の整備や約 300 本の苗木の植えつけをおこないました。植えつけの際に除伐した木材の一部は、近隣の小・中学校の教材として利用されています。枯損木の多い森を蘇らせることを目的としたこの活動は、地域の生態系保全につながっています。



#### Honey Farm Sponsor 生態系の維持を目的とした養蜂農家の支援 欧州

近年、ミツバチなどの花粉媒介者が大幅に減少しており、農作物の生産に大きな影響を与えています。Tokyo Electron Europe は、花粉媒介者であるミツバチの重要性についての認識を高めるとともに、この状況を改善すべく、2021 年度よりフランスとイタリアの養蜂農家を支援しています。この支援に関する知識を深めるため、フランスのグルノーブルオフィスから 8 名の社員が養蜂農家を訪問し、蜂蜜の生産工程の見学や、ミツバチの巣箱の掃除や蜂蜜の抽出などを体験しました。



### 地域社会との共創

#### Club Rainbow 慢性疾患のある子どもたちへの支援 シンガポール

Tokyo Electron Singapore は、2021 年度に慈善団体 Club Rainbow を支援しました。この団体は、子どもたちの社会的自立を目的にしており、チャリティーグッズの制作を通じて子どもたちが芸術的スキルを身につける機会を提供し、58 名の社員がチャリティーグッズの購入や寄附をおこない、また 87 セットの文房具を寄贈しました。

今後も、慢性疾患のある子どもたちが、健康状態や家庭環境に左右されることなく、自らの可能性を發揮できるような機会を得られるよう支援をおこなっていきます。



#### Habitat for Humanity 生活困窮者に対する住宅確保の支援 米国

Tokyo Electron U.S. Holdings は、Habitat for Humanity の趣意に賛同し、貧困の連鎖の解消に貢献すべく、健全な生活の基盤となる住宅確保の支援をおこなっています。2021 年度には Austin にて、住宅建築に関する支援活動をおこないました。この活動には、約 60 名の社員が参加し、用意された図面と資材を使い住宅の骨組みを完成させました。完成された骨組みは建築予定地に届けられます。

